

記入例

事業系一般廃棄物の処理に関する実績並びに減量化及び資源化に関する計画書

注意1

封筒の番号

令和 年 月 日

相模原市長 あて

住所 相模原市中央区中央 - -

注意2

事業所名 (株) 食品 相模原工場

代表者名 代表取締役 相模 花子

電話番号 042 (754)

相模原市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等の推進に関する条例第11条の規定により、提出します。

注意3

事業者の区分 業種・業務内容 (右記の該当する 番号に 印をして ください。)	01 事業所	02 店舗(スーパー含む)	03 百貨店(デパート)
	04 病院	05 ホテル	06 劇場・娯楽施設・冠婚葬祭業
	07 金融・保険業	08 工場	09 倉庫
	10 学校	11 複合用途	12 保健・福祉施設
	13 その他()		

注意4

廃棄物の等 管理	廃棄物管理組織	有・無	廃棄物管理規程	有・無
	社内教育	有・無	処理施設	有・無
	資源の保管場所	有・無	(12.5 m ²)	

注意5

以下、貴社の状況に該当する箇所に 印をつけてください。

Q1 一般廃棄物の処理はどのようにしていますか。

- ア 一般廃棄物収集運搬許可業者に委託 (業者名: (有) 産業)
- イ 自社で市処理施設に搬入
- ウ 自社内で処理
- エ 系列会社等が一括回収処理
- オ その他()

注意6

Q2 資源の排出はどのようにしていますか。

- ア 一般廃棄物収集運搬許可業者が一括して処理(資源の品目について下記の中から 印をつけてください。)
- 資源品目 OA用紙、 新聞・雑誌、 段ボール、食物残さ、空き缶、空き瓶、木くず、その他()
- イ 資源化業者等に委託(下記の資源化の状況欄に業者名等を記入してください。)
- ウ その他()

注意7

資源化の状況 (裏面の処理 実績に品目を 合わせてくだ さい。)	1	資源化物名	空き缶、空き瓶	2	資源化物名	魚アラ
		業者名	商会(株)		業者名	飼料(株)
		住所	相模原市中央区富士見 - -		住所	東京都 区 町 -
		電話番号	042(754)		電話番号	03(3210)
	3	資源化物名		4	資源化物名	
		業者名			業者名	
		住所			住所	
		電話番号	()		電話番号	()

注意8

事業所内における再生品等の使用状況	用紙類	(OA用紙)
	事務用品	(ノート、ボールペン、マジック)
	雑品類	(石けん、トイレトペーパー)
	エコマーク商品	(社員食堂の食器トレイ、作業服)

注意9

再生原料を使った商品の製作・販売状況	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝はチップ化し、自社の堆肥化施設で使用し、肥料として出荷。 ・店頭回収した発泡トレイ・ペットボトルで、ベンチを作成・販売。 ・食物残さを専門業者で飼料化し、それをもとに育てた豚で自社ブランドのハムを製造・販売。
--------------------	--

処理実績 ごみの内訳		令和 年度の実績 単位:t/年						資源化率 (a)÷ ((a)+(b))
		処 理 区 分						
		発生量 (a)+(b) 注意10	資源化量 (a) 注意11	排出量(資源化できなかったごみの量)(b)				
事業所内 処理量 注意12	一般廃棄 物処理業 者委託量 注意13			市処理施設 自己搬入量 注意14	その他 注意15			
紙ごみ	OA用紙	4.5t	4.5t					100.00%
	新聞・雑誌	1.5t	1.5t					100.00%
	段ボール	20.0t	20.0t					100.00%
	その他	5.0t	1.0t		4.0t			20.00%
	小 計	31.0t	27.0t	0.0t	4.0t	0.0t	0.0t	87.10%
	食物残さ	93.0t	10.5t		82.5t			11.29%
	空 き 缶	1.0t	1.0t					100.00%
	空 き 瓶	1.0t	1.0t					100.00%
	木 く ず	2.0t			2.0t			0.00%
	その他()	1.0t	0.5t			0.5t		50.00%
	小 計	98.0t	13.0t	0.0t	85.0t	0.5t	0.0t	13.27%
	合 計	129.0t	40.0t	0.0t	88.5t	0.5t	0.0t	31.01%

排出量等を計量していない場合は、排出に使う袋の大きさ・回数等から積算してください。

注意17 令和 年度の 減量化・資源化の実績 (上記処理実績欄の 数値が前年度回答と 比較できる場合は、 数値の増減している 理由についてもわか る範囲で記入してく ださい。)	飲料の空き缶・空き瓶については、自販機設置業者の 商会(株)が回収・ リサイクルしている。その他の缶は産廃業者(株)××に委託し、資源化。 OA用紙、新聞・雑誌、段ボールについては、一般廃棄物収集運搬業者で ある(有) 産業に回収してもらい、資源化している。 平成29年度より、その他紙ごみのうち、シュレッダー分を資源化した。 食物残さの主なものは原料の ガラであるが、8月から脱水機を導入し、 さらにそのうち一部を飼料化して減量化を図り、約2/3に減らした。

注意18 今後の 減量化・資源化の計画 (貴社の廃棄物処理 に関する計画書等が あれば添付してくだ さい。)	平成30年4月から工場内における廃棄物管理規定および組織体制を定めて、 廃棄物の排出抑制を進める(写しを添付)。 食堂の食物残さについて、生ごみ処理機を導入し、減量化する。 木製パレットおよびそれに付帯する梱包材等が産業廃棄物扱であることから、 木製パレットから再利用可能な素材を使用したパレットに切り替える。 昨年度、本社でISO14001を取得し、今年度工場でも取得予定。今後、数値 目標の設定など減量化の取り組みを推進する

記入例の注意事項

注意1	封筒の宛名の右上に記載されている番号を記入してください。
注意2	<p>・市内に支店等が複数あり、全店分まとめて処理している場合も、提出対象の各建物ごとに計画書を作成してください。(ごみの発生量もおおよその割合で構いませんので、建物ごとに算出してください)。</p> <p>・原則として、封筒の宛名の事業所名、住所等を記入してください。送付された封筒の宛名と違う場合は、正しい事業所名等をご記入のうえ、ご提出ください。(押印不要)</p> <p>・建物の所有者と使用者が異なる場合(例:封筒の宛名は 倉庫あてになっているが、 会社が使用している場合など)は、使用者名を記入し、余白部分に封筒の宛名を記入しておいてください。</p>
注意3	<p>該当する業種の数字に 印を記入してください。</p> <p>・04 病院 には診療所、歯科診療所等医療機関を含みます。</p> <p>・10 学校 には専門学校・幼稚園を含みます。</p>
注意4	<p>有・無のどちらかに 印を記入してください。</p> <p>・処理施設については、生ごみ処理機、空き缶プレス機等を設置している場合、記入してください。</p> <p>・保管場所については、延べ床面積も併せて記入してください。</p>
注意5	<p>該当する処理方法に 印等を記入してください。</p> <p>・アの場合は委託している一般廃棄物収集運搬許可業者名を記入してください。</p> <p>一般廃棄物収集運搬許可業者以外の業者名が記載されていることが多々ありますので、委託先の業者が相模原市より許可を取得しているか確認した後、所得していた場合は、業者名をご記入ください。許可を取得していない業者に委託している場合は、オのその他にご記入ください。</p> <p>・オの場合はどのように処理しているのか、現状を記入してください。</p>
注意6 注意7	<p>該当する排出方法に 印等を記入してください。</p> <p>・Q1で記入したアと同じ業者が処理している場合は、アに を記入し、該当する資源品目に 印を記入してください。別の業者が処理している場合は、イに を記入し、次の「資源化の状況」欄に、何をどの業者に委託して資源化しているのか記入してください。</p> <p>アとイの品目は原則重複しません。</p>
注意8	現在使用している再生品・エコマーク商品を記入してください。
注意9	再生原料を使った商品の製作・販売等があれば記入してください。
注意10	<p>前年度の事業系一般廃棄物の発生量について記入してください。</p> <p>・発生量とは、出たごみの量のことを指します。この段階では、ごみの処理は行われていません。</p> <p>・発生量を計量していない場合は、おおよその数字でかまいませんので、排出に使う袋の大きさ・回数等から積算してください。詳細に量を記入する場合でも、小数点以下第1位まででかまいません。</p> <p>【参考】45^{リットル}(80cm×65cm)の袋で一杯の場合</p> <p>・生ごみ ... 約7.5kg ・紙くず ... 約2.5kg ・びん ... 約13kg ・かん ... 約3.5kg</p> <p>・新聞(1/4面27cm×21cmで高さ30cm)の一束の場合 ... 約7.5kg</p> <p>・紙ごみその他とは、使用済みのちり紙・メモ用紙等、事務室のごみ箱に入っているようなものをいいます。</p> <p>・食物残さには、調理くず、残飯、茶がら等を記入してください。</p> <p>・その他()には、上記以外の事業系一般廃棄物(使用済の紙オムツ等)を記入してください。</p> <p>ペットボトルなどのプラスチック製品等は、産業廃棄物に該当するので、記入しないでください。</p>
注意11	<p>・資源化(リサイクル)を目的として資源化業者等に回収を依頼した量を記入してください。</p> <p>・飲料自動販売機を設置して発生した空き缶・空き瓶については、設置業者引き取り分も含めてください。</p> <p>・自社のごみ処理施設(資源化用)で処分した量も含めてください。</p>
注意12 ～ 注意15	資源化ができず、焼却処分した量を、該当する処理方法ごとに記入してください。
注意16	$(\text{資源化量} \div \text{発生量}) \times 100 = \text{資源化率}(\%)$ を算出してください。
注意17 注意18	<p>【個別の記載事項】</p> <p>・注意17には、前年度に取り組んだ減量化・資源化等の内容を記入してください。</p> <p>・注意18には、今後の減量化・資源化計画の内容を記入してください。</p> <p>【共通の記載事項】</p> <p>・貴社の減量化等の取組の中で、PRしたい取組を記入してください。</p> <p>記入していただいた取組の中で、先進的、独創的な取組を行っている事業者に対し、取組内容の取材をさせていただきます、市発行物に掲載させていただく場合があります。</p>